

「キンモクセイの二度咲き現象(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

(4) キンモクセイの雌株と果実

翌日の9月27日に、同じ友人から、「キンモクセイの雌株」についての情報がもたらされた。

その雄株と雌株ですが、立教大学の裏の西池袋通りと言う通り(山手通りとびっくりガードを結ぶ通り)にキンモクセイの並木があります。そこには実のなる株が数本あるのです! 去年発見しました。去年と言うか今年(2017年)の冬です。毎日見て通っているので気づきました。緑がだんだん黒くなり少しオリーブの実に似ています。その並木が今年是不作なので、残念に思っているところです。

何と、こんな近いところに「キンモクセイの雌株」があったとは! オリーブに似ているのは当然で、同じ仲間(モクセイ科・オリーブ連)だからだ。葉も果実もよく似ている。私は大層驚いて、もし写真があったら送ってください、と依頼した。すると、すぐに返信メールに添付されて、すばらしい写真が届いた。



「キンモクセイ雌株について若い果実」

友人 A 氏撮影 池袋 2017年 冬

これが今年の1月か2月頃の写真です。キンモクセイだと思います。秋に花咲いてましたから。ただ、この通りは、オレンジ色の花の他に薄いクリーム色の花も咲いてました。オレンジのようにかたまってぼんぼんのようになって咲いてはいないんです。(中略) 今年には花がろくにないのです。3週間ぐらい前にバキバキ剪定されてしまった

みたいですかすかです。ですから冬に実がなってそれが見られるかどうか・・・。

写真を見ると、オリーブの実よりも丸みがあり、果皮がゴツゴツしている。葉もオリーブよりも幅広で、間違いなくキンモクセイだ。キンモクセイの雌株や果実は、日本では相当に珍しいので、晩秋か冬になったら、理科部の同僚と是非観察に行きたいと思っている。

(5) やはり「二度咲き」したキンモクセイ

さて、お茶大のキンモクセイだが、一連のメールのあと、一気に散ってしまい、そのまま終わりかと思われた。しかし10月10日ごろになって、再びキンモクセイの芳香が漂い出した。やはり咲いた!



このキンモクセイの株は、3年生の教室からも見えるので、子どもたちも気づき始めた。(上写真は3年生教室から見た様子) キンモクセイは、明らかに「二度咲き」をすることがわかった。しかしそれは、毎年起こるのではない。気付かない年もあるだろうが、私が知る限り、稀な現象である。一体どんな条件の時に「二度咲き」をするのだろうか。いやそれとも、キンモクセイは「二度咲き」が当たり前の植物なのだろうか。



「一回目に落ちた枯れた花卉の上に、二回目の花卉」